

BATPOST

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう
(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

11

2024
November



(一社)広島県中小企業家同友会
創立51周年記念行事 経営フォーラム2024

人を生かす経営の総合実戦で企業づくり・未来づくり
～学びの実践で新たな時代のよりよい企業、よりよい地域へ～

Contents

支部例会	P02
地区会だより	P03
部会だより	P08
委員会だより	P09
支部理事会報告	P12

県スローガン

Human First! ～新時代へ挑戦～



よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

福山支部スローガン

私たちで創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

(一社)広島県中小企業家同友会 創立51周年記念行事 経営フォーラム2024

人を生かす経営の総合実戦で企業づくり・未来づくり ～学びの実践で新たな時代のよりよい企業、よりよい地域へ～

■日時：10月11日（金）

■会場：リーガロイヤルホテル広島

■基調講演報告者：エイベックス（株） 代表取締役会長 加藤 明彦氏（愛知同友会）

分科会報告者：（株）アール・ツーエス 代表取締役 森 慎吾氏（福岡同友会）他



7分科会を担当し、（株）K鉄工業 近藤亮二氏（B地区）が報告しました。また、政策委員会担当の第3分科会では、（株）タテイシ広美社 立石克昭氏（S地区）、青年部担当の第5分科会では、平和建設 岡田一真氏（A地区）が報告しました。BATT POST 11月号では、S地区の感想を紹介します。なお、基調講演・分科会の要旨は「同友ひろしま」12月号で特集します。お、基調講演・分科会の要旨は「同友ひろしま」12月号で特集します。

経営フォーラム2024に参加して

■日時：10月11日（金）
■会場：リーガロイヤルホテル広島

■報告者：エイベックス（株） 代表取締役会長
加藤 明彦氏（愛知同友会）
第2分科会報告者：（株）アール・ツーエス
代表取締役 森 慎吾氏（福岡同友会）
■参加者数：11名（S地区）

経営 フォーラム

S 地区会



経営フォーラム2024に参加しました。基調講演は「人を生かす経営」で日立の実践～自主・民主・連帯の精神を企業に活かそう～というタイトルでエイベックス（株）の加藤氏のご報告でした。同友会の本質的な部分のお話で、澤山の学びがありその中で、「同友会ごっこ」をやっていないか。学んだつむりや、実践しているつもりでなかなか結果が出ない。同友会の目的的にするためには、学んでいるのに結果が出ないのはなぜか？ 加藤氏は同友会の学びを整理して語ることで自分も会社も変わったと言われました。学びをしっかり整理理解し、それをきちんと周りに伝え理解しても、されば行動が変わりおのずと結果は出てくる。先ずは経営者が姿勢を改めることからだと感じました。

第2分科会では、同友会で学んだ「人を生かす経営」で日本一を目指す「成り行き経営」から、ビジョン経営に～というタイトルで（株）アール・ツーエスの森氏のご報告でした。ビジョン経営とは何か？ 現在の延長で考えた3年、5年、10年後のビジョンではなく、大風呂敷を広げたビジョンを員と共に描くことでワクワクした気持ちになり、やる気が出てくる。そしてそこに到達するために、経営者一人の考え方で、社員と共に考え行動してもらうことが必要で、その関係こそが信頼できるパートナーなのだと納得しました。人を生かす経営を実践し、社員と共により良い企業、より良い未来を必ず実現したいと心に誓いました。



「思いの共有」 ～説明から対話へ～

■日時:10月18日(金) ■報告者:早間金属(有) 早間 一隆氏
■会場:市民参画センター ■参加者数:18名



(株)明乳松浦
松浦伸明(A)

『従業員との関わり合い』

■日時:10月15日(火) ■報告者:アイゼン商事(有) 土橋 翔氏
■会場:ローズコム・Zoom ■参加者数:48名



(株)明和
藤井利彦(B)

地区会だより

A 地区会

10月 A 地区例会では、早間金属(有) 早間一隆氏に「『思いの共有』～説明から対話へ～」と題して報告していただきました。早間氏は、早間金属(有)のお嬢さんとの結婚を機に、銀行を退職し、将来の後継者として早間金属(有)へ入社されました。今回は、同友会入会後の人との出会いによる価値観の変化や、気づき等をお話していました。

2017年の同友会入会時には、自分の考え方や価値観が全て正しいと思い込み、自分とは違う経営陣や社員さんの価値観をなかなか受け入れることが出来なかつたそうでした。その後、A地区の八條さんによ出会い、「他責から自責」の話をお聞きすることで、「今、会社があるのは、経営陣や社員さんのおかげなんだから、もっと感謝しなければならない」と自分の考えの未熟さ気づかされたそうです。

また早間氏は、様々な活動や経験を通して自分自身の課題と向き合い、一方通行の説明ではなく対話による「思い」の共有の大切さに気づき、まずは目の前にあることを一生懸命していくとの決意を語っていました。

グループ討論では、価値観について話し合いましたが、会社の価値観や理念、目標がないという方もおられました。会社が成長していくためには、社内の全員が同じ方向を向いて努力することが必要だと思います。

そのためにも、同友会の例会や経営労働委員会、懇親会で勉強し、人との関わりの中から自分の会社の価値観や理念、ルール等を作り、それを自分だけでなく、対話を通じて社内の皆と共有していくことが大切だと感じる例会でした。

地区会だより

B 地区会

10月15日(火)ローズコム・ZoomにてB地区例会を行いました。発表者は、アイゼン商事(有)の土橋翔氏に自身の体験を発表してもらいました。タイトルは「従業員との関わり合い」についてでした。

自身でも、カドリー(株)という別事業を立ち上げており、アイゼン商事を継承するにあたりタイトルも「従業員との関わり合い」について、自身を感じていることや従業員が思っていることなどを踏まえたの発表でした。

従業員満足度(ES)の向上のために取り組んでいる事として、1つ目は労働時間での取り組みがいるそうです。廃棄物の定期回収の業務では、朝4時台から勤務している従業員さんなどもいるため、労働時間を8時間と決めてしまって、ワーカーライフバランスなどにも影響が出るため、時間にとらわれずフレキシブルに対応し、合併して、業界イメージである「きれい・気持ちは汚い・危険」から「キレイ・気持ちいい・かっこいい」と変える取り組みも行っているとの事でした。

2つ目は、福利厚生制度の充実です。交通費や食費の補助、退職金制度の整備も充実させていくようですが、また、保険型退職金制度を活用し、従業員の方が一の保障や退職金の計画的な準備をすることで、本人だけでなく、ご家族からも安心して頂け、定着率のアップにつながっているそうです。

3つ目は、従業員同士のコミュニケーションや経営陣とのコミュニケーションに関する取り組みで、

このような取り組みをして、企業ブランド・業界イメージの向上も推進していくとのこ

とでした。この発表を通じて、自社の取り組みを今一度見直すいい機会となりました。聞いて終わりではなく、しっかり持ち帰り行動して

す。○○会と担当の方の名前をつけてたりして食事会などを行う事で、個人の主体性や自主性を高める事ができているそうです。

4つ目は、勉強会の開催です。リテラシーの向上や自己防衛について、今後に備えて金融に関する知識などの向上も従業員さんにも図ってほしいと勉強会を開催し、一緒に学ぶことで共に成長できる環境も構築しておられるようです。

あなたの売上高を自己分析 ～ブンカイしたらみえてきた～

■日時:10月16日(水)
■会場:ローズコム

■講師: 池永経営(株) 田中 秀穂氏(K)
■参加者数:23名



D 地区会10月例会では講師として池永経営(株)の田中秀穂氏をお招きし、テーマを自社の売り上げ目標の立て方を学ぶとし、勉強会を実施しました。

売上高をブンカイする意義は?経営指針書の中期経営計画「中期の目標」の根拠を説明できますか?という問い合わせから始まり、他同友会会員の実際の成功例とし、ある飲食店が強みを活かしての「記念日利用の促進」を実施し、売上を伸ばしたというお話を伺いました。

その後、売上高を分解して4つの方法【事業タイプ】[価格タイプ]【ABC分析】[売上の瞬間に]に分けてグループワークを実施しました。まず業界によって売上が設備 or 人数 or アイデア、何の影響を受けるのかを市場により価格が決まっている業界は理解し、その上で、自社のお客様・商品接客・契約・納品・入金の内、どこが自社の強みなのか。違

う業種業界が集まる同友会ならではの討論が各グループで広げられました。討論の中では自社の強みが分かりにくい場合はお客様や他社に聞いてみるのが一番だという声もありました。実際にお弁当屋を経営される企業ではお客様へのアンケートを実施しており、おかげの中でも煮物が特に美味しいという声多くが、新メニューにも反映しているというお話を伺えました。途中、田中さん自らグループに参加し、討論をより盛上げて頂きました。

商売をしていく上で、ただ漠然とガムシャラに頑張るのでなく、自社のサービスの強み・お客様の特性を理解した上で商売する大切さを学びました。最後に田中さん、Bグルー

生成AIを学び経営者・会社として革命を起こそう!

■日時:10月8日(火)
■会場:ローズコム

■講師: インディゴグループ(同) 渡邊 大介氏
■参加者数:26名



神原商事(有)
神原秀之(E)

E 地区会の10月例会は、インディゴグループ(同)の代表 渡邊大介氏による講師例会でした。テーマは生成AIについての説明と、各業界での事例についてです。

今回の講師である渡邊氏は、ITを活用した事業を幅広く展開しており、投資運用事業や経営に関わるコンサルティングなども行い、生成AIに関するセミナーも数多くやられている専門家です。普段から一緒に仕事をしている方は、ぜひ渡邊氏の話が聞きたいと多くの方がオブザーバーとして参加いただきました。

まず参加者でChatGPTのアプリを実際にダウンロードすることから始まり、基本的にどういったことができるのか、初心者にも分かりやすく教えていただきました。

質疑応答では、自社でこうしたいけどどう活用できるかといった様々な質問が出来ました。その後の懇親会でも皆が質問して大盛り上がりました。貴重な講演を聞かせていただきありがとうございました。

生成AIはとても便利なありますが、使用者によって活用の幅も違ってきます。欲しい情報や答えが聞きたい場合は、それらを上手に引き出すプロンプトが重要になります。我々が活用した場合、欲しい情報は答えてもらえないからです。渡邊氏が質問をすると一発で求めた回答がありました。その後ビジネスでも生成AIを活用するケースが増えてくる一方で、我々も勉強し成長しました。質問の仕方でこんなにも活用に差があるのかと驚かされました。

今後ビジネスでも生成AIが活用した場合、欲しい情報は答えてもらえないからです。渡邊氏が質問をすると一発で求めた回答がありました。その後ビジネスでも生成AIを活用するケースが増えてくる一方で、我々も勉強し成長しました。質問の仕方でこんなにも活用に差があるのかと驚かされました。

地区会だより

D 地区会

バトンは俺の手に ～2代目の挑戦と葛藤～

■日時：10月16日（水）
■会場：ローズコム
■報告者：ダイシーサービス(株) 石田 和礼氏
■参加者数：45名



地区会だより

F地区10月例会は、ローズコム大會議室で「バトンは俺の手に～2代目の挑戦と葛藤～」というテーマで、ダイシーサービス(株)の石田和礼氏による体験発表が行われました。今回は女性部との合同例会で、多くの参加者が集まりました。

石田氏は「経営者の道」に立ち、プレゼン発表を重ねる中で、心が65歳になるまでの10年限定で設立された会社で、石田氏は「父が作った会社を存続させたい」という強い思いを抱いています。従業員マインドから

経営者マインドへの変化が、多くの参加者にとって、自身が経営者としての道を歩み始め頃を振り返る良い機会となりました。「あなたが石田氏ならどうしますか？」をテーマに討論が行われ、厳しい意見も飛び交いましたが、彼の成長が大きな成果と感じられる例会でした。



(有)福山サービスセンターイトワ
伊藤 匡(F)

大討論例会！ 参加したくなるG地区を語ろう！ ～社員さんが長く働きたくなる会社とは～

■日時：10月16日（水）
■会場：市民参画センター
■報告者：参加者全員
■参加者数：22名



地区会だより

G地区10月例会は、「大討論例会！参加したくなるG地区を語ろう！」と題して、G地区メンバーで参加したくなるG地区とは、どんな会なのかを60分間討論しました。今回の大討論会の目的は、人によつて考え方は異なりますが、人が集まる以上は考え方方が異なるのは当然。どの考え方でも大切である中で、一緒にG地区を創っていく会員同士がお互いの考え方、想いを語り合う時間を創りたいということでした。

討論の中で、まず初めに、同友会入会当時、何を期待して入会したのか、意見を出し合はい、その後、今現在、G地区に期待していることは何なのか？どんなG地区が理想のG地区なのか？を議題にあげました。それぞれ異なる意見が出てくる中で、でも共通していることは、少しでもG地区が良くなるにはと、それぞれ異なった意見が出た。

それぞれの置かれた状況で、できる限りの意見が反映できるので、前向きにこれからもよりよいG地区にするために取り組んでいきましょう。

(有)阿吹運送店
阿吹成駿(G)



エネルギー・シフトの基礎知識

■日時:10月21日(月)
■会場:タカハシセミナールーム

■報告者:(株)タカハシ 高橋 克直氏
■参加者数:8名



(株)明電
大塚 真(1)

地区会だより

I 地区会

一 地区10月例会は「エネルギー・シフトの基礎知識」と題し、(株)タカハシの高橋克直さんに昨今のキーワードとなりつつある「エネルギー・シフト」について発表いただきました。「エネルギー・シフト」「SDGs」など耳にすることが増えたものの、その詳細については「なんとなく」分かたつつもりになっている内容について、まずは大枠をとらえよう、という意図を感じる発表になっていました。

例えば、CO₂が増えすぎると温室効果により地球が温暖化してしまう、というイメージは誰しもが持っていると思

いますが、温室効果に影響を与える物質はCO₂だけではなく、メタンやフロンの方がよほど影響は強い、ということや、「熱中症患者が増えている」「このままではシロクマが絶滅してしまう」というなんとなくの印象も実際のデータを確認してみると、熱中症により死亡する人数は特別増加しているわけではないし、暑さよりも寒さで死亡するの方が多い

など、会社経営する立場の高橋さんは、それが推進されることで、自社を取り巻く環境にどんな変化が起こるのか、についてアンテナを張る必要があると強く感じる。大塚にとつては神回の発表でした。

という事実、シロクマは絶滅どころか増加傾向にある、などマスコミにて報道されることに対し、「本当の所どうなの?」と疑問を呈しながら、ユートラルな内容になつてありました。

ただ、高橋さんが本当に言いたかったことは、マスコミは信用ならないという事ではなく、事実はどうあれ、日本や日本を取り巻く環境が「エネルギー・シフト」を強力に推進する方向に進んでいることは間違いないという現実でした。実際上場の大企業から、自社に関わりのあるサプライチェーン全体でエネルギー・シフトを実現しようとしている雰囲気を、弊社のような町工場においてもその気配を感じることができます。

地区会だより

J 地区会

わかっているつもりになってない? ~財務の視点を意識した決算書のとらえ方~

■日時:10月21日(月)
■会場:市民参画センター

■講師:(株)稻田財務 稲田 裕氏
■参加者数:19名



サークルベース
住吉 謙一郎(J)

地区会だより

J 地区の10月例会は「わかっているつもりになつてない?財務の視点を意識した決算書のとらえ方」というテーマで、前年度入会した株式会社稻田財務の稻田裕(いだひろし)氏に報告していました。参考者は会社経営する立場のもので、もちろん決算書を見る機会はあります。ただその決算書のどこの数字を良くすれば見る人によっては評価が変わることであつたり、どの数字を良くすることを考えたら会社が成長していくかという話でした。この度の例会は報告後にグループ討論といふ流れではなく、報告中の中でシンキングタイムを設けられ各グループで討論をする形でした。その中で自社はこうする、あするといった活発な意見があついました。当たり前でない飛び交うことで皆さん盛り上がりっていました。当たり前でない人もいる中で、報告を聞いているだけだと自分の考え方でやつてからと特に学ぶこも

にあります。決算書を見るからこそ数字目標も大変になつてくるのですが、業種にもよりますが、売上目標も大変になつてくるので、目標も大変になつてくるのですが、業種にもよりますが、売上目標を立てやすいです。決算書の見せ方であつたり、自社の売上に対しても粗利が残つて固定費がこれぐらいかかるから出しおの身としては、とりあえずう考でしかなかつたので、決算書の見せ方であつたり、自社の伸ばし方に対しても考え方のヒントになるものなどありました。

ブレないための目標設定と実行方法(リーダー育成研究vol.3)

備後企業と学生みんなで盛り上がろう! 「びんごフェスティバル(びんフェス)」

■日時:10月12日(土)
■会場:神石高原
ティアガルテン
■報告者:(株)福山楽器センター 新庄 一貴氏
およびK地区会員
バンズグリル 小川 尚範氏(I)
■参加者数:417名(自地区19名、他地区45名、
その他350名、入会候補者3名)



午前8時。神石高原の澄み渡つた空のもと、新鮮な空気を吸いながら同友会3つの目的の唱和から始まった。『びんフェス』。K地標設定と実行方法(リーダー育成研究とV.O.・3)を実践するため神石高原へ集合しました。まずは、10月例会開催にあたり豊田支部長をはじめとされます福山支部の皆様には、多大なるご理解と協力をいたしました。当日は、学生、同友会会員、企業内スタッフ、ご家族等多くの方々にご参加いただき盛大に開催されました。

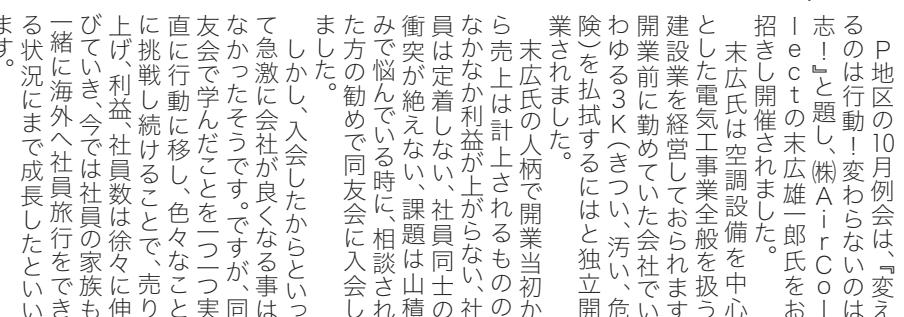
10月例会では、各学校、出店設営、受付、緊急対応等会員一人ひとりが自分事として捉えリーダーとしての役割を全うしました。一人では成しえることのできない目標を設定することで、様々なタイプのリーダー像を理解し、リーダーを支援するスタッフの行動も同時に研究することができました。組織の規模に もよりますが、自分でやった方が早いということ、で、全て一人で実行してしまうことがあります。スピード感はあります。自分の思い通りになると思いますが、そこには所属する社員やスタッフの成長を妨げることにもなりかねません。そしてコミュニケーション不足が生じ本人しか知らない状況になります



さかもと保険(株)
坂本貴之(K)

変えるのは行動! 変わらないのは志!

■日時:10月17日(木)
■会場:ローズコム
■報告者:(株)AirCollect 未広雄一郎氏
■参加者数:26名



地区会だより

地区会

午前8時。神石高原の澄み渡つた空のもと、新鮮な空気を吸いながら同友会3つの目的の唱和から始まつた。「びんフェス」。K地区10月例会は、「しないための目標設定と実行方法(リーダー育成研究▽▽▽)」を実践するため神石高原へ集合しました。まずは、10月例会開催にあたり豊田支部長をはじめとされます福山支部の皆様には、多大なるご理解とご協力をいたしましたこと深く感謝を申し上げます。当会は、学生、同友会会員、企業内スタッフ、ご家族等多くの方々にご参加いただき盛大に開催されました。

これは、業務を運営する中でとても怖いことです。
音楽という手法で、学生×企業×同友会×地域を繋ぐことにな
り、KJ地区内では共に学び、そし
て悩み、共に考える時間を共有でき
たことで、会員相互に成長でき
何よりKJ地区に所属している帰
属意識の醸成ができました。対
外的には経営者と学生が会食や
場を創造することができましたが
実際に話をしたり、学生のことを
P.R.する時間を作ること
ができませんでした。また、外部
へP.R.する時間が不足していたこ
ともあり、出店企業様の売上貢
献も不十分だつたと反省しており
ます。沢山反省すべき点が多くあ
りますが、本例会を開催したこ
とで、広島県中小企業家同友会
福山支部の存在を、外部の方へ
周知できたことはプラスだと感じ
ています。
最後になりますが、例会開催
にあたりご協賛いただきました企
業の皆様、来場できず現地へ心
を寄せて下さいました全ての皆様
に感謝を申し上げ、10月例会の
報告とします。
ありがとうございました!!

地区会だより

地区会

P地区の10月例会は、「変えるのは行動！変わらないのは志！」と題し、㈱A-i-rCO-lectの末広雄一郎氏をお招きし開催されました。

末広氏は空調設備を中心とした電気工事業全般を扱う建設業を経営しておられます。開業前に勤めていた会社でいわゆる3K（きつい、汚い、危険）を払拭するにはと独立開業されました。

末広氏の人生で開業当初から売上は計上されるもののなかなか利益が上がらない、社員は定着しない、社員同士の衝突が絶えない、課題は山積みで悩んでいた時に、相談された方の勧めで同友会に入会しました。

そこには、行動をする、変える
だけでなく、変わらぬ「志」が
あつたからだとの事です。
末広氏は「世界中の人々に愛さ
れる会社になろう」という企
業理念を変わらぬ志として経
営しているとの事です。

ごちゃごちゃ言うな。やりやーえーんよ。

青年部だより



■日時:10月7日(月)
■会場:ローズコム

■報告者:サークルベース 住吉 謙一朗氏
■参加者数: 名

2024年度10月例会は5班一発目の例会で住吉氏に発表してもらいました。たくさんの方達に出席していただきました。ありがとうございました。

5班独自の活動として、担当例会は同一人物が2回発表し、発表者が青年部での学びや関わりを通じて1年間でどれだけ成長するのか、気持ちや行動、数字の変化も報告します。

班活動の最初は自分の直すべき所、「ダメな所を100個まで帰れまん」をし、班長と副班長がすごく関わっていました。その後の例会までの班活動でも、住吉氏に対してもアドバイスや厳しい意見が飛び交っていました。班員があれをしてみよう、これをしてみようと意見を出して、次回の小組会までにどれだけ行動できましたか、成果が出るか試してみました。

しかし、当事者の住吉氏は最小限しかできていない状態



野上鍼灸整骨院
尾瀬佳史(B)

バトンは俺の手に ~2代目の挑戦と葛藤~ 女性部だより

女性部だより



■日時:10月16日(水)
■会場:ローズフバ

■報告者:ダイシーサービス(株) 石田 和礼氏
■参加者数:45名



ホリスティックブレイン学院(株)
藤原留衣(B)

ケルバーフ討論では、経営は関わるようになつた時の気持ちや、経営者としての立場になつてからの変化について思い出しながら活発に意見を交わしました。この討論を通じて各自が自分の経験を振り返り今後の成長に向けた新たな視点を得ることができました。

最も大切なのは、1年先、3年先のビジョンをしつかり描き、苦悩があつても前向きに

先代と同じやり方を踏襲することはできません。根幹の軸をぶらさず、枝葉の部分で自分のカラーややりたいことを表現することが重要です。今日の例会を通じて、参加者それぞれが異なる立場から多くの気づきを得たことと思います。改めて自社の目標を振り返り、愛社精神を再確認する機会となり、新たな一步を踏み出すための素晴らしい例会となりました。皆さんにそれぞれのビジョンを持ち、前進していく姿勢が、これから成長に繋がることでしょう。

女性部にとって初めての合同例会でしたが、他地区との交流は非常に刺激的で、多くの学びが得られました。異なる視点や経験を共有することで、参加者は新たな気づきを得ることができます。今後の活動に活かしていく貴重な機会となりました。

入会しました

10月4日(金)にローズコムで、新会員オリエンテーションを開催しました。先輩会員の体験報告は、ペアコム(株) 代表取締役 梨木 彩加氏(P地区)が務め、同友会での学びや会社の変化を報告しました。BATPOST11月号では当日参加した新会員の内、原稿を寄稿いただいた6名の方を紹介します。



芦田川ドライビングスクール

総務部係長 高橋 徹 (B地区)

同友会へは、事業承継を行う上で様々な方の体験談等を伺える場、勉強できる場として紹介いただき、入会しました。業種は自動車教習業です。運転免許取得をお考えの場合は、当校をご検討いただければ幸いです。



株EVER BLUE

代表取締役 村上 達則 (B地区)

初めてまして。普段は理学療法士として訪問リハしながら、マワルソラ訪問看護リハビリステーションを運営しています。今まで自身で経営をした事がなく、先輩達から色々手法や考えを学べたらと思い入会しました。これからもご指導ご鞭撻の方宜しくお願ひいたします。

一般社団法人 ハッピーポケット

代表理事 濱原一将 (B地区)

この度入会させて頂いた濱原と申します。東尾道でゴルフ工房をさせて頂いています。今まで障がい福祉分野の会社を経営していましたが、新たな挑戦の為、学びの為に同友会に入会させて頂きました。今後ともよろしくお願いします。



(有)WIN-TECH

取締役部長 佐藤 隆 (F地区)

義父と共に建築系の会社を経営しております。小さい企業ながら時代の流れに遅れぬよう、皆さまと共に成長したく入会させて頂きました。よろしくお願ひします。



鍛冶屋農園

代表 赤木 昭弘 (J地区)

神石高原町豊松でまる豊トマトを生産・出荷しております、鍛冶屋農園の赤木です。トマトの栽培だけでなく農園の経営について学びたいと思い、入会させていただきました。農業とは全く違う業界の経営者の方々と出会う、お話をうかがう中で、なにか一つでも、農園の経営にいかし、従業員の方、地域の方に貢献していくたいです。よろしくお願ひします。



民間救急スリーナイン

代表 大原 知 (K地区)

今年の3月まで消防に勤めていました。退職後、K地区的建内さんから同友会を紹介され、入会を決めました。経営のことは全くの素人ですが、先輩経営者の話を聞き、共に学び成長したいと考えています。

經營勞働 委員會

キホンの“キ”シリーズ「経営基礎講座」2クール第1講 「経営理念part1 経営理念とは」

■日時:10月31日(木)

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■講師:旭調温工業(株) 栗屋充博氏(代表理事・広島中支部)

(株)エコリューション 塩梅泰弘氏(前広島中支部長)

■ 参加者数:53名



(有)山幸運輸
渡邊龍馬(J)

10数年前に経営理念たては作成をしていましたが、某大手企業のHPで「自身の生きる姿勢や価値観が確立していない」経営理念に満足していませんでした。現在掲げている経営理念を一度見つめ直すいい機会になりました。

講座申込でグレープワークとなり、受講生の皆さんまで経営理念対策シートに向き合い、各自脳に汗をかくほど真剣な眼差しで考えておられました。今回この経営基礎講座の冊子ですが、Excel一ファイル経営指針作成と実践の手引きsheetに解説が入った冊子になつておりますので、初めてでも非常にわかりや

さて今回も始まりました、「経営基礎講座」は第2クール第1講「経営理念編」。10月31日から翌年3月28日までの全10講で「経営指針」作成が出来てしまうという講座です。

同友会三つの目的を唱和後、高山委員長の開会挨拶から講座がスタート。屋根代表理事から「経営理念の会社における役割」の解説があり、塩屋氏からは「経営理念とは、経営理念の役割」の解説をお聞きしまして、私は改めて経営理念の必要性を深く考えさせられました。

すくなつております。お買い求めは
福山事務局にて1冊2200円

作業所の仕事内容、A型事業所、B型事業所について福

してくれました。

ま『経営眼

バリアフリー 委員会

「就労継続支援A型・B型の違いは?」 「就労移行支援って?」

■日時:10月9日(水)

■日時：10月3日（水）
■会場：事務局・Zoom

■報告者:結縊福祉会(同) 小林 篤司氏 (株)三倉屋 鹿嶋 保彰氏

■報告者・相手層面
■参加者数:30名



建内レンタル(株)
建内博行(K)

作業所の仕事内容、A型事業所、B型事業所について福祉山支部会員の結紲福祉会（同）小林さん、（株）三倉屋鹿嶋さんのお二人から発表していただきました。

『福祉』って説明が難しい作業所は障害者の方と一緒に仕事を通じてハードルをさげてあげる、ハードルをなくしてあげる、ハードルを飛び越える力をつけてあげるのが役割だと説明がありました。視力が弱い方は、細かい作業や運転ができないから『障害者』である。だけど眼鏡があると細かい作業も運転もできる。眼科や眼鏡屋さん達の協力でハードルを飛び越える事ができる。障害は本人の問題ではなく周りの問題である。と例え話を交えてわかりやすく説明を

してくれました。グループ討論で、環境をよくするための『できるか』について、金アップや仕事についての意見を述べました。上草薙委員長は、市内の特別支援学校で10年で2倍になりましたが、内がありませんでした。するのも大切で、リーグ委員会と一緒に学びましょ

は『経営環
に今がで
にし合い、貸
切り出し方
多く出来し
から、『福山
校の生徒は
いる』と案
我が雇用
か、バリアフ
て個性を一

環境経営委員会

中同協環境経営委員会 「ビジネスと人権」オンラインセミナー

■日時:10月1日(火)

■会場:Zoom

■講師:経済産業省通商政策局ビジネス・人権政策調整室室長補佐 木内 遼氏

中同協 政策局長 斎藤 一隆氏

■参加者数:約70名



環境経営委員会10月度勉強会は、中同協環境経営委員会「ビジネスと人権」オンラインセミナーに参加いたしました。ビジネスにおける人権リスクが高まっている昨今、企業も人権問題に取り組むことが求められています。人権侵害とは、強制労働、児童労働、低賃金労働、長時間労働、各種差別、ハラスメントなどが該当します。

代表的な例として、新疆ウイグル地区の強制労働における人権侵害があります。グローバル企業とともに日本企業14社も公表され、輸入禁止されました。そのような世界の流れを汲み、中同協でも取り組みがすみ始めっています。具体的には、自社の「ビジネスと人権」について考える大枠のステップが策定されています。

①自社の人権に関する現状

M Support(株) 前田明子(G)

について確認する。②現状や経営理念などを踏まえ人権方針を策定し公表する。経営指針に盛り込む③「ビジネスと人権」に関する課題について優先順位を決め、改善方法を検討実施する。④これらをPDCサイクルとして回す⑤相談窓口などの仕組みに確立するものです。非常に具体的で現実的な現状確認チェックリストや課題検討シートの素案が既にできていたのも驚きました。これらのツールが同友会で当たり前に使われる日もう遠くないはずです。

企業における人権尊重の取り組みは論ずるまでもなく、企業活動における人権への負担の防止・軽減・救済が目的です。リスクヘッジのためだけではなく、経営者が人権意識を常に持つことが求められます。まずは、自社における人権侵害の課題に目を向けて、経営指針に盛り込むことから始めてはいかがでしょうか。

A サイクルとして回す⑤相談窓口などの仕組みに確立するものです。非常に具体的で現実的な現状確認チェックリストや課題検討シートの素案が既にできていたのも驚きました。これらのツールが同友会で当たり前に使われる日もう遠くないはずです。

企業における人権尊重の取り組みは論ずるまでもなく、企業活動における人権への負担の防止・軽減・救済が目的です。リスクヘッジのためだけではなく、経営者が人権意識を常に持つことが求められます。まずは、自社における人権侵害の課題に目を向けて、経営指針に盛り込むことから始めてはいかがでしょうか。

地域内連携

すまオレフェスタ2024見学会

■日時:10月12日(土)

■会場:ビックローズ

■参加者数:6名



今年度の地域内連携推進委員会のテーマは、企業間連携です。そこで私も所属している住まいに関する仕事をしている企業のチーム、チームすまオレが行つた、すまオレフェスタ2024の見学会を行いました。

各社の既存のお客様への感謝と、お互いのお客様を共有することが狙いで、年に一度開催しております。各社のブース、そして各社の実行委員が主体となって企画したキッズ、飲食、ステージ、ガラポン抽選会と来場の方に楽しんでもらいたく内容です。同じ地域の中小企業同士だからこそできる企業間連携だと思います。

委員会の参加者の方には見学をしていただいて、自社の新たな取り組みに繋げて頂ければと思います。お一人仕事の連携が成立したというお声も頂きました。

(株)キャッスルコーポレーション 馬屋原 聖史(B)

第6回 福山支部理事会 報告

2024年10月30日 (出席者 28/32)

■ 討議事項「会員企業が発展する福山支部を創るために」

問題提起

- ・支部理事は支部重点方針の達成をめざす先頭に立っています。重点方針に共通するのは、同友会の良さを分かって伝えることです。本日の理事会資料の中に、前回の全地区合同役員会の源田専務理事の報告資料の一部を付けています。そこに地区例会や支部例会、委員会、県行事、全国行事のそれぞれの目的が書いてあります。

- ・私たち支部理事は同友会のショーケースとして、自分と自社が良くなるだけではなく、福山支部の会員企業が良くなる環境を作っていく役割があります。私もかつては役目上、行事に参加したことがあります。そこで学びを得て目標とする経営者にも出会いました。周りにその学びや経験を勧めるには、自分が経験をしてみないとわかりません。本日はどんな働きかけをすれば、福山支部全体の会社が良くなるか、討論をお願いします。

※グループ討論・発表を行いました。内容は省略いたします。

まとめ

- ・伝える、コミュニケーションがキーワードでした。伝えると伝わるの違い、伝え方の手段、伝わり方など、「伝えること」の難しさを実感しています。支部理事は最高に学んでいる立場です。経験したことを得意な方法で、もっともっと周囲に伝えていただきたいと思います。
- ・今期の福山支部では参加目標の数値は掲げていますが、ノルマ等は出しています。ただ、参加の分母が増えると、それだけ学ぶ人が増えます。結果として参加する人、学ぶ人が増えればと思います。ご討議、ありがとうございました。

■報告・連絡

●専門・委員会

①総務委員会

- ・来月11/25（月）に全地区合同役員会を予定していましたが、役員研修大学の第3講と日程が重複しました。総務委員会で検討し、全地区合同役員会を11/29（金）に日程変更しました。会場はローズコムです。どちらも参加対象が重なっていることを考慮した結果です。すでに地区会で告知をさせていただいているかと思いますが、ご理解いただければと思います。

②組織委員会

- ・地区会長と部会長にお願いです。組織委員会で増強の目的を確認しています。委員会だけではなく、地区会でも目的を読み上げていただきたいと思います。目的は事務局から配信します。ご協力よろしくお願ひします。

③企画委員会

- ・1月の新春講演会は1/8（水）が正式日程です。昨年度に続き、丸山先生に講師をお願いしています。よろしくお願ひします。

④経営労働委員会

- ・11月12月は企業変革支援PGの登録月間です。県全体で18%の目標に対し、現在、3.8%の登録です。ぜひ各地区でお知らせをお願いします。

⑤環境経営委員会

- ・12月はSDGsのカードゲームを行います。

●地区会・部会

①青年部会

- ・来期の部会長の選考会議を行いました。立候補7名から1名を3時間かけて決めました。今回、選考に漏れた会員にも結果を伝えると、いろいろな反応が返ってきました。部会長として全員に納得してもらえる伝え方ができたかどうか、と思っています。

●県関係の報告

①県理事会報告

- ・今回は広島同友会の現状と課題の討議事項でした。川口事務局長

から報告があり、討論を行いました。今期は東広島事務所の開設や人手不足などの実態報告がありました。支部によっては地区や小組の対応をしたり、委員会の運営も全部お願いしているところもあるようです。討論の中で、会員は事務局とパートナーシップを図っていかないといけない、と言った意見もありました。

- ・その他、詳細は県理事会報告をご確認ください。

②役員研修大学STEP1の申込状況

- ・次回は11/25（月）です。本日の資料に今後の予定を掲載しています。県理事の実践報告を中心を開催します。スポット参加も可能です。

■その他の報告

①ビジョン委員会の報告

10/16（水）に開催しました。支部議案書に5年前に作成したビジョンを掲載しています。数字は現状と少し差がつきすぎているのではないか、との指摘は理事会でもありました。

- ・県の中期ビジョンを参考に、次期の支部のビジョンも3部構成にする、入会率・退会率を設定する、政策提言ができる福山支部にしたい、などの意見が出ています。引き続き、わかりやすいビジョンの作成をめざしていきます。

②支部活動費の執行状況

- ・9月末でちょうど半期を迎え、執行のめやすは50%です。実際の執行率は、47.0%です。
- ・求人・社員教育委員会はフォロー研修の参加費納入があったため、前月から大きく数字が変わり、34.3%の執行率です。
- ・それぞれの行事に応じた執行が行われています。特に問題はありません。

③支部理事増強の進捗状況

- ・理事の達成状況は、事務局に掲示している名簿をご確認ください。
- ・会員数680名の目標は、福山・府中の事業所数の1割、組織率10%をめざした途中の数字です。私は会員増強は、KPI (Key Performance Indicator/重要評価指標) だと考えています。一つひとつの目標がゴールではなく、大きな目標を達成するための途中の数字であり、会社がよくなるための数値だととらえれば、会員数680名ももう重くなく感じられるのではないかでしょうか。
- ・周りに困っている経営者がおられないか、今一度ご確認いただき、声をかけていただきたいと思います。

④福山平成大学経営学部 経営講演会のお知らせ

- ・福山平成大学の堀越先生からご依頼です。同大学のびんご経営リサーチセンター主催で12/7（土）の14時から行われます。会場は福山大学社会連携推進センターです。
- ・第2部の小川教授は同友会がめざしている企業、経営と共通した話をされる先生です。面白い内容だと思いますので、参加希望の方は直接お申し込みください。

【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者（1名）

（株）Techno Cross 代表取締役 中野 信勝（S）

事業概要：金属加工・研磨

■退会希望者（3名）

（株）キューワ 代表取締役 宮本 和志（F）

ラウンジ宮貴 代表 宮本 貴子（F）

伊豆義（株） 代表取締役 伊豆田 康博（S）

以上承認されました。

これにより、福山支部の会員数は660名になりました。